



青銅製のメダイ

出土したメダイには
フランス・モサゼルやキリスト、
マリアの姿が刻まれている。

彼らが

命を懸けて 守ったもの

一九九二年、原城本丸の発掘調査が
始まった。天草四郎が最期の時を
迎えたとされる、約十メートル四方の四
郎家跡が見付かったほか、特に破壊が凄
まじかった正門付近では門の瓦や石垣と
ともに、四百体にも上る数の人骨が発見
された。また、このとき複数の十字架と
メダイも出土している。鉛でできた十字
架は、信徒たちが敵が打ち込んだ弾を溶
かして作ったものであり、メダイは遺体
の口元のそばから発見されたことから、
命を落とす間際に口に含んだものではな
いかと推察されている。

原城には「ホネカミ地蔵」という小さ
なお地蔵様が祀られている。これは一七
六六年に有馬村願心寺の注管上人がこの
戦乱で亡くなった人々の骨を敵、味方の
区別なく拾い、霊を慰めた地蔵尊塔であ
る。案内板によれば、「ホネカミ」とは「骨
をかみしめる」の意味で、そのことから
「自分自身のものにする」、さらに「人々
を助ける、救う」と理解されるという。
そこには宗教を超えて、ただただ命を落
とした人々への慰霊の想いがあった。



鉛製十字架

原城から出土された鉛の十字架。
信徒たちが火縄銃の弾丸を
溶かして作ったものだと思われる。
人骨に混じって出土した
これらの十字架は、
島原の乱の真実の一端が見える。

日野江城跡、原城跡の出土品
は原城文化センターで見学可。
また日野江城の階段遺構は今
後、復元が予定されている。

原城文化センター
南島原市南有馬町乙1374
TEL.0957-85-3217